

私を変えた先生との出会い

今の私があるのは、小学校で保健室の先生と出会うことができたからです。私は、小学校に入学してから2年生まで保健室によく通い、給食もほとんど食べることはできませんでした。

最初に会った時、とても厳しくて怖い先生だと思いました。なぜなら「少し頭が痛い。」「お腹が痛い。」と、何かと理由をつけて保健室に行くと、熱を計られて、体温が平熱以下だと教室に戻されていたからです。幼い私は、どうにかして保健室で休もうと、いろいろ考えていました。特に教室にいたくないというわけではありませんでしたが、ベッドで寝ることができて、夏は涼しく冬は暖かい保健室は魅力的でした。何回も保健室へ通ううちに、いつの間にか先生のことを「怖い」と思わなくなっていました。昼休みの時間も先生と話をしに行きました。途中で仮病だとばれそうになった時も、「今回だけね。次からはだめよ。」と少しだけ休ませてくれました。「こんなんじゃだめだよね。」と、私も少しずつ思い始めていましたが、もう癖になっていました。

そんなある日、先生が他の学校へ行くということを知りました。私は本当にショックでした。最後の日、先生にプレゼントを渡して泣いた私に、先生は、「次に来る先生も良い人だから。でも、辛くても少し頑張って、それでも辛いついていう時にだけ行きなさい。もう先生はいないけど、次の先生から聞いて叱りに来るからね。」と、少し冗談交じりに話をしてくれました。

先生がいなくなったその年から、私は給食を残すことも減り、保健室へ通うこともほとんどなくなりました。次の先生も優しい先生でしたが、前の保健室の先生の言葉を思い出すと、もう少し頑張れると思うことができました。小学校の時、先生と出会わなければ、私はずっと頑張りのきかない子だったのではないかと思います。

豊岡 美空
(高校生)